

2) 河川整備基本方針、河川整備計画について

平成12年7月26日

近畿地方建設局

河川法改正の流れ

明治29年(1896年)

近代河川法の誕生

治水

昭和39年(1964年)

治水・利水の体系的な制度の整備

- ・水系一貫管理制度の導入
- ・利水関係規定の整備

治水 + 利水

平成9年(1997年)

治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備

- ・河川環境の整備と保全
- ・地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入

治水 + 利水 + 環境

河川整備基本方針および河川整備計画について

河川整備基本方針・河川整備計画の位置付け

従来、「工事实施基本計画」を定め、これに基づいて、河川管理者は、河川の工事を実施してきた。

平成9年の河川法の改正により、工事实施基本計画に代わり、河川整備の長期的な方向を示す河川整備基本方針と段階的・中期的な河川の姿を示す河川整備計画に分けて定めることとなった。

河川整備基本方針は、具体的事業の取り扱いを定める河川整備計画の前提となるものであると同時に、河川環境や維持管理等に対する河川の方向性を明らかにするものである。

河川整備計画は、河川整備方針に即し、地域の意見を聴いて策定することになっており、新たな事業や大規模な事業をはじめ河川整備の内容を河川整備計画に位置付けることとなっている。

工事実施基本計画と河川整備基本方針・河川整備計画

工事実施基本計画

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針
 - ・洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減
 - ・河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持
2. 河川工事の実施の基本となるべき計画に関する事項
 - ・基本高水及びその河道と洪水調節施設への配分
 - ・主要な地点の計画高水流量
 - ・主要な地点の流水の正常な機能を維持するために必要な流量
3. 河川工事の実施に関する事項
 - ・主要な地点の計画高水位、計画横断形等
 - ・主要な河川工事の目的、種類、施行の場所
 - ・当該工事による主要な河川管理施設の機能

河川整備基本方針（長期的な基本方針）

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針
 - ・洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減
 - ・河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持
 - ・河川環境の整備と保全
2. 河川の整備の基本となるべき事項
 - ・基本高水及びその河道と洪水調節施設への配分
 - ・主要な地点の計画高水流量
 - ・主要な地点の流水の正常な機能を維持するために必要な流量
 - ・主要な地点の計画高水位、計画横断形に係る川幅

河川整備計画（20～30年の具体的・段階的な計画）

1. 河川整備の目標
 - ・河川整備計画の対象区間、対象期間
 - ・洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
 - ・河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
 - ・河川環境の整備と保全に関する目標
2. 河川工事の実施に関する事項
 - ・河川工事の目的、種類、施行の場所
 - ・当該工事による主要な河川管理施設の機能
 - ・河川の維持の目的、種類、施行の場所

河川整備基本方針の特徴

- <手続き> 河川審議会の意見を聴く
- <内 容> 長期的な視点に立った河川整備の基本的方針
個別事業など具体の河川整備の内容を定めず、整備の考え方
- <ポイント> 河川環境の現状及び保全の整備
- ・自然環境の保全の考え方
 - ・河川空間の利用の考え方
- 河川管理の維持管理
- ・課題と対応方針
- 計画的・段階的整備
- ・水系として一貫した計画のもと段階的に整備を推進
 - ・上下流・本支川バランスを考慮
- 危機管理（洪水被害の最小化）
- ・計画規模を上回る超過洪水への配慮
 - ・整備途上段階での洪水被害の最小化
 - ・ソフト的な施策の推進
- 渇水体制の整備
- ・情報提供・水融通の円滑化
- 地域住民や関係機関との連携
- ・健全な水循環系の構築への取り組み
 - ・個性ある川づくり

河川整備計画の特徴

- <手続き> 学識経験者の意見を聴く
関係住民の意見を聴く
関係地方公共団体の長の意見を聴く
- <内容> 20～30年後の河川整備目標
個別事業を含む具体的な河川整備の内容
- <ポイント> 【河川の現状と課題】
防災
洪水、高潮、地震に対して、現状の河川でどのような被害が、どのくらいの頻度で発生する恐れがあるのか。
河川の利用・活用
河川からの取水、河川への排水、河川空間（高水敷や堤防周辺）の利用、漁業活動、舟運やレクリエーション等の水面利用に関して、どのような課題があるのか。
河川環境
河川の水質や生態系の保全に関して、どのような課題があるのか。
- 【具体的な対策】
防災、河川の利用・活用、河川環境に関する現状の課題に対して、
基本的な対応の考え方
現在行っている具体的対策
これから実施しようとする具体的対策
箇所、内容、期間、効果、コスト、周辺地域や生態系への影響、代替案との比較等
引き続き検討する課題